

1 介護予防ケアマネジメント事業等

(1)前年度の取り組みに対する評価・実績							(2)主な地域課題			(3)主な地域課題の改善策・解消策			(6)取り組みに対する全体評価／振り返り(前期)			(8)取り組みに対する全体評価(年間)		
<p><例> サロン活動が活発な地域であり、包括としては、サロンの支援を通して、地域内の高齢者の状態把握等を行った。 圏域内10団体のサロン開催時に必要に応じて訪問し活動を充実させるための助言やフレイルの普及啓発をしたほか、サロン参加者の内状態悪化が疑わしい者がいたため、別途対象者宅を訪問し、基本チェックリストを実施のうえ通所型サービスCに繋げた例もあった。</p>							<p><例> ○圏域内にどのような閉じこもり高齢者が何人程度いるのか民生委員との連携や訪問などにより把握する。 ○閉じこもり高齢者の状態像を確認し、悪化が見られる者は基本チェックリストを実施するなど総合事業サービスに繋げる。 ○閉じこもり高齢者の外出促進に繋がるような目的・内容を設定し、直営のサロンなどで、定期開催する。</p>			<p><例> 閉じこもり高齢者について、民生委員と連携し、訪問などを行った結果、○○人と一定の方の把握に繋がった。 訪問したうち状態悪化が見られる高齢者が2人いたため、基本チェックリストを実施し、通所型サービスCに繋げることができた。 後期は、把握した状況の分析を踏まえ、閉じこもり高齢者が定期的に通える場所を創出するため、外出の動機づけや不安解消に取り組む必要がある。</p>			<p><例> 前期に閉じこもり高齢者を一定数把握することができた。10月からは、閉じこもり高齢者が定期的に通える場所として、包括直営にてサロンを開催し、定期的な外出動機を創出することができた。このサロンを通して高齢者の状態像の把握も引き続き行う。今後も、今年度の取り組みを継続させつつ、本人が納得し、自ら進んで外出してもらった方を引き続き検討していく。</p>					
(4)今年度の取り組み・重点事項							(5)取り組み実績(前期)			(7)取り組み実績(年間)								
高齢者福祉計画	取り組み・重点事項	内容(何を、どのように)	活動指標(実施時期・回数)	場所	担当者	前期評価	実績・評価理由	市確認結果	年間評価	実績・評価理由	市確認結果							
<p>1 健康長寿へのチャレンジ</p> <p>(1)介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>①総合事業における多様なサービスの利用促進</p> <p>【介護予防・生活支援サービス事業 通所型サービス】</p> <p>キ 通所型サービスC 健康チャレンジ複合型教室事業</p> <p>②通所型サービスCの利用者の利用後のフォローについて</p> <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <p>コ 介護予防ケアマネジメント</p> <p>③適正な介護予防ケアマネジメントの実施</p> <p>(2)地域で取り組む健康長寿へのチャレンジ</p> <p>【一般介護予防事業】</p> <p>ア 健康チャレンジ高齢者把握事業</p> <p>④閉じこもり高齢者の把握・支援</p> <p>エ 健康チャレンジ普及啓発事業</p> <p>⑤介護予防、健康長寿等に関する講座、講演会の開催</p> <p>オ 健康チャレンジに取り組むための通いの場(サロン)の開催支援</p> <p>⑥サロンの開催支援</p> <p>コ フレイル対策推進事業</p> <p>⑦地域内でのフレイル対策推進事業の充実</p> <p><例> 圏域内の通いの場(10団体)へ出張フレイル講座を行う。県のハンフレットに沿って普及啓発をすとも、フレイル状態が疑わしい方がいた場合は、フレイルチェック測定会への参加を促す。</p> <p>前期 5団体 後期 5団体</p> <p>通いの場開催場所</p> <p>保健師を中心に全職種</p> <p>C 計画通り、通いの場5団体へ出張フレイル講座を行った。計5回以内、フレイル状態が疑わしい参加者が3名いたため、フレイルチェック測定会への参加を促すことができた。</p> <p>計画どおり圏域内のサロンへ出張フレイル講座を実施し、参加者の状態確認ができていたことを確認した。</p> <p>B 計画どおり、通いの場10団体へ出張フレイル講座を行った。年間を通してフレイル状態が疑わしい参加者が5名いたため、フレイルチェック測定会への参加を促すことができた。また、当事業を通して圏域内の通いの場には支援者になれるような元元高齢者が多数いることが確認できた。フレイルサポーターとしての活動の場を案内したところ2名が養成に繋がる等、フレイル状態像の把握だけでなく、支援者の発掘をすることができた。</p> <p>年間を通して、滞りなく、出張フレイル講座の実施ができていたことを確認した。また、この事業を通して、支援者を発掘する等、計画以上の取組ができていたことを確認した。</p>																		
<p><作成の流れ></p> <p>3月頃～(事業計画作成)：(1)→(2)→(3)→(4)→</p> <p>8月頃～(前期振り返り)：(5)→(6)→</p> <p>1月頃～(年間振り返り)：(7)→(8)→次年度(1)へ</p> <p>※(5)(6)で、前期の評価・振り返りを行い、新たな課題がないか見直し、修正しながら後期に活かす。</p>																		
<p>前期評価／後期評価</p> <p>A：計画を大幅に上回る成果を上げた。</p> <p>B：計画をやや上回る成果を上げた。</p> <p>C：ほぼ計画通りの成果を上げた。</p> <p>D：計画をやや下回る成果だった。</p> <p>E：計画を実行できなかった。</p>																		